

平成30年度 第4回全体庁議（5月11日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(4)「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」の概要及び今後の取り組みについて[学校教育部]
----	-------	--------------	--

■ 提案・報告の趣旨

将来の児童生徒数の減少がもたらす学校への影響が懸念される中、帯広市教育委員会ではより良い教育環境を目指していくために、平成29年2月に『帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本方針』を策定した。
本計画は、基本方針に基づいて適正規模の確保等に関する取り組みの進め方を示すものである。
平成30年2月に提案した「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画(案)」については、前期対象校である大空中学校地域の意見交換会において、一定の理解を得られたと判断したところ。
4月23日の教育委員会会議において本計画を決定したことから、5月23日の建設文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 計画案からの主な変更点

<資料編の一部を変更>

- (1) 通学区域の見直しに伴い、通学区域図及び学校と町内会の関係表を修正
- (2) 平成30年2月から4月にかけて行った計画(案)に関する意見交換会の開催状況及び主な意見を追記
開催状況及び参加人数 4回 延べ252名
主なご意見
 - ・学校の小規模化を危惧
 - ・保護者の意見が一番大切
 - ・子どもを第一に考えるべき
 - ・小中一貫教育、施設の老朽化、他の公共施設との複合化
 - ・教員の目が届きやすい小規模校のメリット 等

2 今後の取り組みについて

前期対象校地域の中学校、小学校、未就学児の保護者や地域住民、学校関係者等から構成する地域検討委員会を設置し、対象校の現状や課題、今後のあり方等様々な視点から協議を行う。
その後、検討委員会から提出される意見書を勘案し、年度内を目途に実施計画を策定する予定。

■ 今後のスケジュール

- ・平成30年5月23日 建設文教委員会への報告
- ・平成30年6月以降 地域検討委員会における協議

■ 審議結果

- ・同内容で、5月23日建設文教委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし